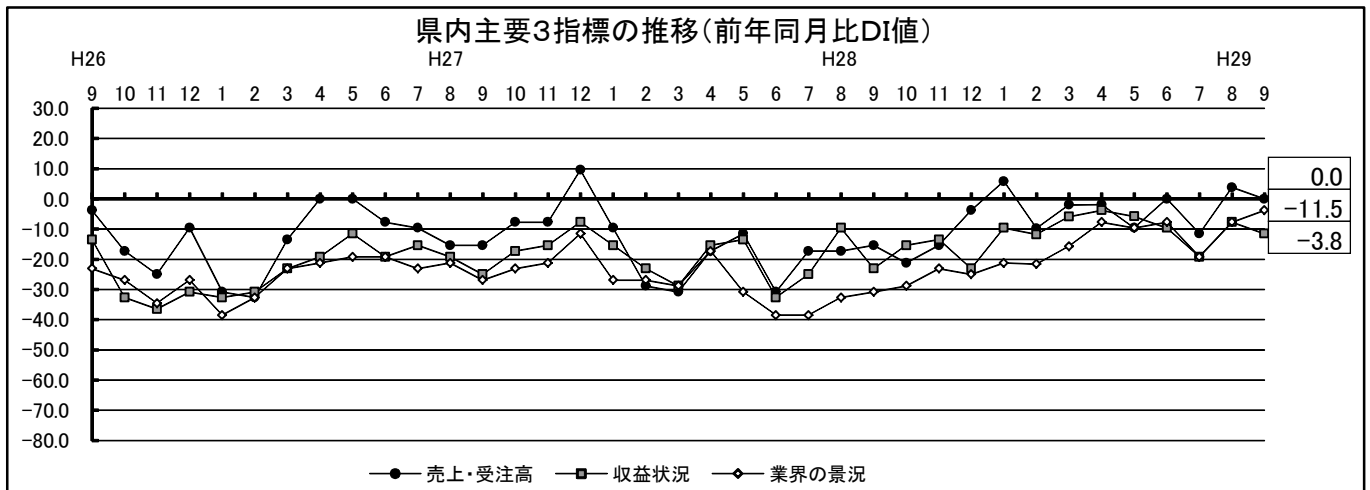


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年9月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、上昇した指標は9指標中「業界の景況」のみに留まった。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より3.8ポイント下降の0.0ポイント、「収益状況」が3.8ポイント下降の-11.5ポイント、「業界の景況」が3.9ポイント上昇の-3.8ポイントであった。
- 前月比で多くの指標の数値は横ばいを示しているが、「在庫数量」が7月より下降傾向にあり、先月大きく回復を見せた「収益状況」が再び悪化するなど、中小企業の経営基盤を不安定にする動きが強まっていると考えられる。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	0.0	-3.8	-9.7	2.3
収益状況	-11.5	-3.8	-16.7	0.1
業界の景況	-3.8	+3.9	-17.0	-0.3

売上・受注高

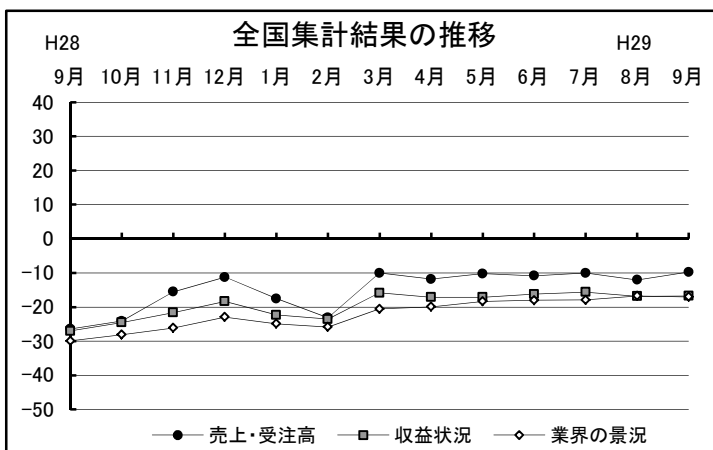
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より3.8ポイント下降の0.0ポイントとなった。全国においては、前月より2.3ポイント上昇の-9.7ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より3.8ポイント下降の-11.5ポイントとなった。全国においては、前月より0.1ポイント上昇の-16.7ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より3.9ポイント上昇の-3.8ポイントとなった。全国においては、前月より0.3ポイント下降の-17.0ポイントとなった。



-概況-

9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「景況」のみの改善に留まり、「売上」「在庫」「収益」の3指標が悪化した。主要3指標は、「売上」が前月より3.8ポイント下降の0.0ポイント、「収益」が3.8ポイント下降の-11.5ポイント、「景況」が前月より3.9ポイント上昇の-3.8ポイントであった。前月は若干ではあるが、回復の傾向を示す結果であったが、当月の調査では、ほぼ横ばい、またはマイナスの値を示すものが多かった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中4業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で6業種中4業種が下降した。「収益」は製造業で3業種が上昇、1業種が下降し、非製造業で3業種が下降した。「景況」は製造業で3業種が上昇、1業種が下降し、非製造業では1業種が上昇、2業種が下降した。

国内の経済情勢は一進一退の動向。先月に引き続き、需給不調による物価上昇や地政学リスクに起因する原油高に加えて、さらなる人件費アップや運送料の値上げ動向等も出ており、全般的な経営コストの負担増が一層顕在化している。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	×	△	△	△	×	△	△	△	×
木材・木製品	×	△	△	△	×	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	○	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	×	△	—	△	△
サービス業	○	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	○	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	25.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-75.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
木材・木製品	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	-8.0	-12.0	0.0	0.0	-16.0	-12.0	-12.0	-4.0	-12.0
卸売業	-33.3	-33.3	0.0	0.0	-33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	-28.6	-28.6	0.0	-14.3	-42.9	-14.3		14.3	-14.3
サービス業	66.7		0.0	0.0	16.7	16.7		33.3	16.7
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		20.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	7.4	-30.0	3.7	-3.7	-7.4	0.0	14.8	3.7	
全体	0.0	-17.1	1.9	-1.9	-11.5	-5.8	-12.0	5.8	-3.8

図表3～【指標別DI値の推移】

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前月比
売上高	-15.4	-21.2	-15.4	-3.8	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	3.8	0.0	-3.8
在庫数量	-31.4	-28.6	-14.3	-22.9	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	-14.2
販売価格	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8	3.8	1.9	1.9	0.0
取引条件	-9.6	-1.9	-5.8	-3.8	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	0.0
収益状況	-23.1	-15.4	-13.5	-23.1	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-3.8
資金繰り	-7.7	-9.6	-5.8	-5.8	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	0.0
設備操業度	-16.0	-8.0	-4.0	-8.0	-8.0	0.0	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	0.0
雇用人員	0.0	0.0	-5.8	-3.8	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0
業界の景況	-30.8	-28.8	-23.1	-25.0	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	3.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	50.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	-75.0	-50.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	75.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
一般機器	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	20.0	-8.0	8.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	12.0
卸売業	-33.3	-33.3	0.0	0.0	-33.3	0.0		0.0	-33.3
小売業	-42.9	-28.6	-28.6	0.0	-28.6	0.0		0.0	14.3
サービス業	-16.7		0.0	0.0	0.0	0.0		-16.7	0.0
建設業	-40.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		20.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-50.0
非製造業	-25.9		-20.0	-7.4	0.0	-14.8		0.0	0.0
全体	-3.8	-14.3	0.0	0.0	-3.8	0.0	0.0	0.0	3.9

特記事項

情報連絡員報告（平成29年9月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	このところ原材料の高騰があるが、すぐに商品には転嫁できない。10月から宅急便の値上げもあり、インターネット販売への影響が心配。
外衣・シャツ製造業	一部の新聞では景況感が上がる、又は百貨店の秋物が好調など伝えているが、現場では少しも影響が感じられないどころか、悪化の方向を感じている。地方・末端事業者まで行きわたるのか、疑問である。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	トーシヨン業界も本格的なシーズンに入った。しかしながら、海外アパレルなど動きの速いブランドからの引き合いは若干鈍いようだ。各社ともアパレル向けだけでなく、雑貨・インテリア等、トーシヨンレースの多様性を活かした取り組みを行って苦境を乗り越えようと奮闘している。
一般製材業	9月は例年になく位の非常に少ない受注量になった。各組合員の情報でも、工務店等の動きも鈍く、なかなか予定が立てづらい状況とのこと。何とか10月は立て直していきたいと考えている。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。8月末で2社組合員数が減少した。組合運営も厳しい状況となる。
石灰製造業	全体では昨年並み。碎石で若干上向いているが、大きな動きはまだ先。鉄鋼向けは依然低調であり、トータルすると昨年並みか？
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関連…穏やかな回復基調にある。軽自動車市場で回復が続き、前年同月比増加。 ・機械設備関連…半導体設備、電子部品設備等の受注が順調。自動車関連も徐々に受注。業種により、バラツキがあるよう。 ・プレス金型関連…自動車部品関連は8月以降順調。
金属製品製造業	今月も売上高に増加が見られた。その要因としては、8月分と同様に、自動車関係で得意先が1社増加したためである。
一般機械器具製造業	建機業界が好転しているため、一部の企業では忙しくなっているところもある。しかし、自動車業界は若干落ち気味になっており、総じて良くない。
一般機械器具製造業	本月の報告は、前年同月と比較し、全般的に不変という報告を受けている。売上高の上昇が一部企業にみられるものの、仕入れ単価上昇等を伴うなど楽観視はできない状況である。

各種商品卸売業	<p>・食料製造卸…2020年までには、「ハサップ」の導入が全食品事業者に義務づけられる見通しだが、導入するとなると膨大な投資が必要となるため、小規模の食品事業者にとっては存続問題にもなってくるのが懸念される。</p> <p>・来春新卒の採用状況…輸送用機器卸、機械器具部品卸業の2社は、まだ内定者ゼロである。ここ数年、新卒者の採用は厳しさを増してきているため、既卒者にも採用の範囲を広げざるを得ない状況にある。2社とも社内高齢化を懸念している。</p>
食肉小売業	国産・輸入品の仕入価格が高いため利益薄く、収益面では前月と同じ。
中古自動車小売業	下取車が、低年式・過走行車となっており、商品価値のある中古車が減少していることから、相場が高止まりしている。
各種商品小売業	街中の景気は停滞気味。特に、衣料・高額品は苦戦の9月であった。景気の悪化が、まだまだ続きそうに思われる。
各種商品小売業	9月は、曜日廻りによってはシルバーウイークが売上好機となるはずが、残念ながら今年は祝日の日数も少なく厳しい結果であった。天候でも、夏らしい夏が無いまま残暑も感じることなく秋が訪れ、メリハリが無い四季は、購買欲へと繋がらないことを改めて思い知らされた。季節感を大事にした売場展開を心掛けたい。
花・植木小売業	8月の日照不足と長雨の影響から、心配された入荷量・相場は、ほぼ前年並みに推移した。売れ行きも、連休のブライダル・敬老の日・彼岸需要などで、花が良く動いた。今年も残り3ヶ月となったが、これから年末まで、花業界にとってはイベントも多く、稼ぎ時となるので、様々な角度で知恵を出し合い売上アップに繋げていきたい。
理容業	6月頃より、組合員の減少が、かなり緩やかになっている。新規組合員の増加は難しいため、少しでも脱退者を食い止めていきたい。
自動車整備業	雇用人員1名増であるが、稼働率の低下により、それに見合う売り上げ増が見込めていない。
ビルメンテナンス業	倉庫内作業請負で事業高が増したが、人件費・外注費も増加したため収益は微増程度。ビルメンや廃棄物処理は横ばいの状況。
給食センター	新規の得意先等の弁当食数増があった為、売上高は前年同月比で増加となった。新調理法で製造のシニア向け弁当の拡販等、コストダウンにより収益は改善されていくと思われる。
旅館・ホテル	9月の業況だが、昨年は相次いだ台風の影響で減少したのに対し、今年は台風が無かった分、前年比で増加した宿が、減少した宿を幾分上回った。他方、総体的にみると、ほぼ横ばいといったところ。最近の傾向として、素泊まり希望のお客様が増えて来た。10月～11月の紅葉に期待したい。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。ここ数年9月は会合も少なく、飲食店利用のお客様も全体的に少ない傾向にある。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは167%増、敷物用ラベルは724%増、壁装用ラベルは182%減であった。4月～9月累計では、前年同月比カーテン用ラベル138%増、敷物用ラベル67%増、壁装用ラベル36%増であった。9月は既製カーテン用ラベルで、グループホーム・小学校・病院用カーテンラベルの大口受注があった。敷物用ラベルは、ホテルの改修工事受注もあった。壁紙用ラベルは、アパート・マンション・ホテルの新築工事の発注が多かった。

<p>一般貨物自動車運送業</p>	<p>ドライバー不足の深刻な状況下で、荷動き上昇傾向を示した事業所が増え、稼働率を高める手段の強化が急務である。燃料価格も上昇傾向にあり、来月の値上げも告知されている。</p>
<p>貨物軽自動車運送業</p>	<p>9月は各大手企業などの決算期により、季節ものの食品・冬用タイヤ・自動車部品などのリコール品などが好調に推移した。なお、人手不足により一時配車不能になるなど、機会損失を招いた。</p>
<p>一般乗用旅客自動車運送業</p>	<p>平日は、夜間の利用者が少なく待ち時間が長い状況だが、対前年比率の売上は、若干上がっている。</p>
<p>大谷石採石業</p>	<p>9月に入って、貼石関係は少し減少し、昨年9月並となった。大きな物件が始まったとの話もあった。積石は、修理だけでなく新規もあり、ここ数年、9月に入ると仕事が少々増えるとのこと。</p>